

# はなわ 議会だより

2017  
No.138

発行/福島県塙町議会  
平成29年4月21日



## 給食おいしいな

塙中学校

### 3月定例会

- 給食費、町が3割負担へ ..... P 2 ~ 3
- 今年が目玉ピックアップ ..... P 6 ~ 7
- こども園建設など11議員が町政をただす ... P 13 ~ 21
- 意見交換会を開催しました ..... P 22 ~ 23

# 予算総額85億1769万円を可決 前年度比△5.7%

# 給食費 町が3割負担へ

## 新年度一般会計予算で4議員が討論

議案第26号 平成29年度埴町一般会計予算は、予算決算常任委員会審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し本会議で報告を行った。なお、※少数意見の留保があり少数意見報告書が提出され、その後報告者含め4名の議員が討論を行った。討論とは、議会に対する「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言をいい、採択一覧は下記のとおり。  
※「少数意見の留保」とは、委員会の表決の結果、多数を得られず取り上げられなかった意見について、本会議において、自らの意見を少数意見として認められる権利。

### 平成29年度 一般会計予算採決状況一覧

議案	○賛成×反対 議長(大縄武夫)は採決に加わらない												議決結果 (賛成:反対)		
	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男		鈴木孝則	大縄武夫
議案第26号	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	一	可決(9:4)

### 賛成



藤田 一男

#### バランスのとれた予算編成

全国で少子高齢化が問題視されているが、埴町でも例外でない。埴町の人口も年々減少していくなか、少しでもその流れを抑えるため、いかに子育て世代に住んでいただくかが課題である。本予算案はそれを十分に取り入れられたものであり、子育て施策の三本柱や若者定住促進住宅造成工事、こども園建設に向け取り組みがされている。また、高齢者の健康寿命延伸事業などもありバランスよく取り入れられた予算編成になっている。町長選挙の公約違反と言われていたが、町長の任期は4年間あり任期のなかで実施できれば公約違反ではない。



吉田 広明

#### 0ベースを發揮する姿勢を評価

賛成理由の一つ目は、三本の柱を軸に、子育て世代と子ども達への支援を行う政策方針。二つ目は、人口減少と少子高齢化が避けられない状況を、政策で少しでも穏やかにするために、子育てや福祉に予算を優先する意思が見られること。三つ目は、こども園建設に対し、財政が厳しいなかでも町長の手腕を發揮していただき、効果効率を求めた施設を建設する意思が見られたこと。四つ目は、市町村財政計画を早期に達成するために、予算執行にあたっては7割~8割が前年度踏襲の事業のなかでも可能な限り0ベースを發揮する姿勢が見られることが挙げられる。

### 反対



鈴木 安次

#### 内容が決まらない中での予算計上は安易

こども園建設を基本設計ができてから検討すると答弁しているが、内容が決まらないのに予算を計上するのは安易すぎる。もっと慎重に検討を行い予算計上すべき。他の財源を削ってでも給食費無料化を行うと言っていた。しかし「財源がないので3割だけ町負担にする」というのは以前の発言と行動の整合性がとれていない。町長公約である4つの老人ホームは、施政方針や来年度予算案をみても計上されていない。これらの理由からこの予算案を通すことはできない。



割貝 寿一

#### 現状を把握せず十分な調査を怠る姿勢を危惧

当面の待機児童はプレハブ施設で解消できるので、こども園建設は検討を重ねてから予算化すべき。18歳までの医療費無料化は国が行い、保育料無料化は今のところ計画性がなく、給食費は財源不足のため3割負担にとどまった。現状を把握せず、十分な調査を怠る姿勢を危惧している。また、訂正はしたものの予算審議のなかで、予算案をみていないと発言するなど、町長自身も理解していない予算案提出は議会軽視と言わざるを得ない。



幼稚園・小学校・中学校で出されている給食が対象となる

3月定例会は、3月8日から16日までの9日間の会期で開催しました。第1・2日目に、提出議案の一括説明を行い、その後、来年度予算案について総括的質疑を2議員が行いました。第3・4日目に、11人の議員が一般質問を行い給食費やまちづくりなどを取り上げ、町政をたどりました。第5・6日目の来年度予算を審議する予算決算常任委員会では、一般会計予算で賛否が分かれ7名の議員が討論を行いました。最終日には、予算決算常任委員会の審査報告書と留保した少数意見報告書が提出され、新年度一般会計予算について4議員が討論を行いました。結果、賛成多数で可決され、他27議案も原案どおり可決し閉会しました。

**平** 成29年度予算全会計の総額は、85億1769万1000円で、前年に比べ5億1114万2000円減額となった。このうち、一般会計は57億4982万4000円で前年度を6億2517万6000円下回った。人口減少の影響から地方交付税の減少が見込まれることや、大規模な事業が減少していることなどが影響しているためである。

**第** 5次長期総合計画に基づき、子育てや福祉に関する予算、町道をはじめとしたインフラの維持補修のプロジェクトに重点配分された。

財政の健全化に努めながら、「仮称はなわこども園」整備事業、障がい者の自立支援、野生イノシシの駆除

対策事業や道の駅はなわの集荷業務事業、地域集会所と消防屯所の改築、地域おこし協力隊の活動費用、町道板庭田野作湯舟線の橋梁上部工事、工業団地周辺の町道補修工事など、重点事業に積極的に予算を配分した。

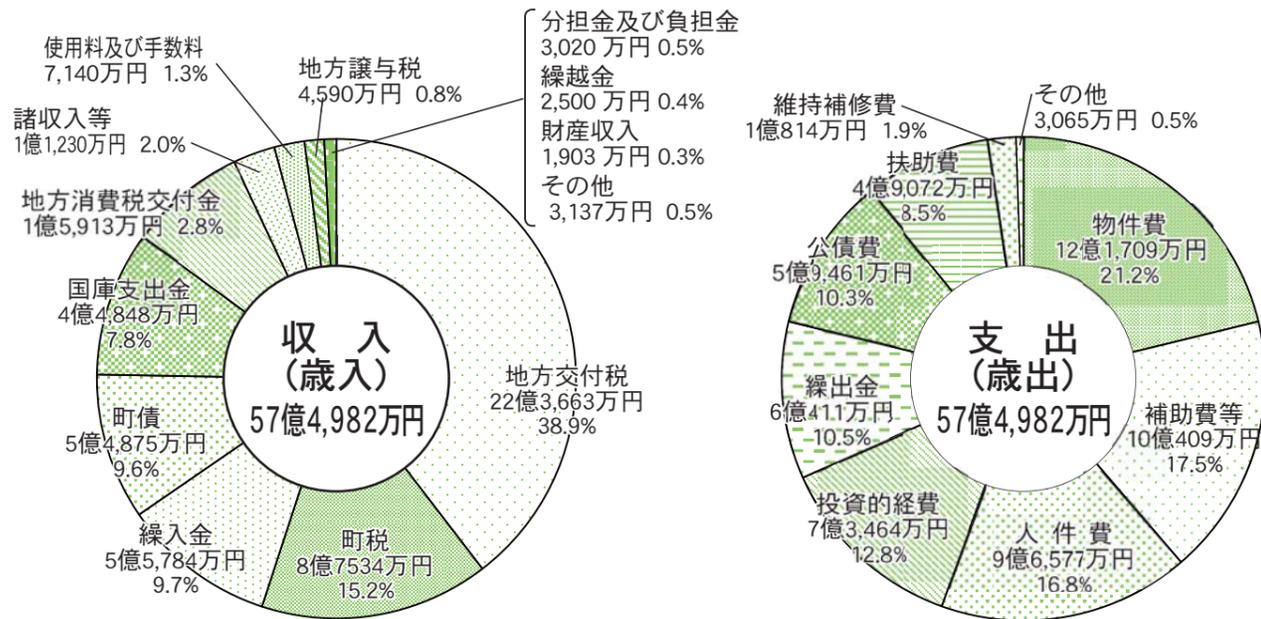
また、伐期を迎えた森林を整備するふくしま森林再生事業や板庭地区の用水路改修事業を継続して実施する。

**予** 算決算常任委員会では、詳細な説明を受け、徹底した議論を行い、慎重に審議を重ねた。議会からは、町が給食費を3割補助する子育て世代の負担軽減策などを不安視する声があり、質問が相次いだ。

# 減る地方交付税収入

# 財政運営慎重に

## 平成29年度 一般会計の内訳



埴町一般会計予算（総額 57 億 4982 万円）を、家庭で例えるとどのような暮らしぶりになるのでしょうか。

町税 8 億 7534 万円を、給与月収 6 万 800 円に換算した場合の金額を記載しています。

町の予算を家計簿に例えると？

《収入》		《支出》	
給与 基本給（町税）	6.08 万円	食費・光熱水費などの日常生活費 （人件費・物件費）	15.2 万円
パート収入 （分担金・負担金など）	1.64 万円	ローンの返済（公債費）	4.12 万円
親・兄弟からの援助 （地方交付金・国庫支出金・県支出金など）	24.4 万円	医療費・保育料（扶助費）	3.4 万円
預金の引き出し（繰入金）	3.88 万円	子どもへの仕送り（繰出金）	4.2 万円
ローン借入（町債）	3.84 万円	電化製品購入（投資的経費）	5.12 万円
前月繰越（繰越金）	0.16 万円	保険料・自治会費など （補助費等）	7 万円
		電化製品の修繕 （維持補修費）	0.76 万円
		その他	0.2 万円
合計	40 万円	合計	40 万円

# 新予算編成の 総括質疑を実施しました

町長に対して、新年度予算の疑問点や不明点を 2 議員が質問しました。  
この質疑は、予算編成の考え方とその反映、今後の施政方針や新年度の事業方針を質問するものです。いくつかを要約してお伝えします。

### 心身のケアを行う福祉施設とは

**鈴木茂議員** 施政方針で述べた心身のケアを行う福祉施設とはどのようなものと考えているのか。予算にはどのように反映させているのか。

### 全世代を対象に検討を重ねたい

**町長** 産前産後ケア、心身障がい者関連のケア、高齢者に対する心身のケアなど関係機関と連携し、今後町にとってどのような施設が必要なのか、多方面から検討を重ねて参りたいと考える。こども園の中の子育て支援施設も一つの福祉施設と考えており、建設に向けて予算を提案している。



### 新しい提案、手法は新年度予算編成にどう活かされたのか

**鈴木安次議員** ゼロベースでの考え方を基本に各所にわたる新しい提案や手法を生かしながら予算の積み上げを行っていく旨発言しているが、予算編成にどのように活かされたのか伺う。

### 新たに厳密な積み上げを行った

**町長** 予算編成においては、新たな視点から予算編成に取り組むよう職員に周知した。これにより、既存の経常的事業においても新たに厳密な積み上げが行われ予算要求されたものと認識している。



### 予算方針



新町長になっての初の予算編成  
子育てや福祉、  
インフラ維持補修に  
重点配分

### 1 少子高齢化に対応した子育て施策の新拠点

- ～生み育てたいまちづくり～
- ・「仮称 はなわこども園」の整備
  - ・障がい者の自立支援

### 2 地方創生に向けたチャレンジ

- ～活力にあふれるまちづくり～
- ・伐期を迎えた森林等の整備を図る「ふくしま森林再生事業」
  - ・板庭地区の用水路改修事業
  - ・野生イノシシの駆除対策事業
  - ・道の駅はなわ集荷業務事業

### 3 持続可能な発展に繋がる町おこしと地域の活性化

- ～町民みんなが主役の町～
- ・地域集会所、消防屯所の改築
  - ・地域おこし協力隊の活動費用

### 4 安全・安心な町づくりの構築

- ～家庭と地域に安全の町～
- ・町道板庭田野作湯舟線の橋梁上部工事
  - ・工業団地周辺の損傷の激しい町道補修工事

# 私もひとこと

## 大友 彩子さん(埴地区)

待機児童の解消はもちろんのこと、子育て支援の機能も併せ持つ施設ということで、家で子供を養育している保護者や祖父母の方々へも、大きな手助けになるのではと期待しています。また、今まで町外に求めるしかなかった遊び場が、埴町ならではの形で実現すればと、楽しみにしています。



## 川上四区長

## 石井 勝弘さん(川上地区)

地域防災活動の拠点となる消防団施設の整備とコミュニティーの中心となる集会施設の建築が平成30年3月内完成予定となりました。施設整備にご尽力いただいた関係各位に区民を代表し感謝申し上げます。



## 岩田 常美さん・吉子さん(那倉地区)

6月から7月にかけてトマトやごぼうを、10月から11月にかけてブロッコリーを栽培して道の駅に出しています。家から道の駅まで片道30分かかり、80歳になり運転するのも大変になってきました。もし家まで農産物を取りに来てくれるようだと大変助かります。



# 29年度 予算



## 子育て若者定住促進住宅事業

# 7965万円

未広町に計画している子育て若者定住促進住宅は、1区画60坪から70坪ほどの面積を25〜26区画予定している。現地の地質調査、ボーリング調査に300万円、宅地造成のための開発行為許可申請委託料600万円、不動産鑑定100万円、土地の売買3000万円などを計上している。また、南原住宅駐車場工事に伴う測量設計業務100万円、不動産鑑定業務50万円、土地買収費400万円、駐車場整備工事400万円などを計上している。



## 道の駅集荷システム構築事業

# 400万円

中山間の小規模農家や高齢になつて農作物を運ぶのが大変な方などを対象に「道の駅」産地直売所へ出荷を行うための集荷システムを構築する。平成29年度は、対象者の把握や人員の確保などを行う予定。今後実施に向けて取り組み方針が出されている。



## 敬老会実施事業

# 838万円

敬老会の主催を町から区へ移行して実施を考えている。75歳以上が対象で80歳以上の方に敬老祝金を贈呈する。敬老会を自主的に区で開催していただく方針だが、行政区長と協議を進める予定。

敬老会協力者等謝金125万円、敬老祝い金1,350人の5,000円で675万円、消耗品費6万円食糧費13万8,000円、250人を見込んで弁当とお茶13万8,000円などを計上している。

※詳しくは、P25 追跡レポートへ

## 不妊治療助成事業

# 80万円

不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額の治療費がかかる配偶者間の特定不妊治療に要する費用の一部を助成するもの。1回の治療内容により15万円又は7万5千円を上限に助成し、男性不妊治療に対しても1回の治療につき10万円を上限に助成を行う。また、福島県特定不妊治療助成の決定を受けた方が対象となる。



## こども園舎建設事業

# 2億899万円

磐城埴町周辺に建設予定であるこども園舎の建築工事を実施。工事管理委託料400万円、開発行為許認可申請委託料などで480万円、工事請負費で2億円などを計上している。職員による担当者会議、子育て世代の父母と保育園、幼稚園などの代表者による建設検討委員会等を組織し、視察研修、意見交換会などを実施している。平成30年度の開園を目標に工事を実施する予定。



## 川上四区消防コミュニティーセンター新築事業

# 4788万円

川上四区集会所と3分団第4班消防車庫を同敷地内に整備する。集会所は、築30年を経過し駐車場がないことや、3分団4班消防車庫においては屯所、駐車場が共になく団員の活動拠点として不便なものであった。建設地は、中平地内で平成29年度に完成を予定している。川上四区集会施設建設工事3550万円、3分団4班消防車庫新築工事監理業務委託料37万円、3分団4班消防車庫新築工事1100万円、屯所解体工事100万円などを計上している。

# 質疑

# 予算審議

ここが聞きたい



平成 29 年度の一般会計及び各種特別会計・水道事業会計は、予算決算常任委員会で審議しました。町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかを要約してお知らせします。

## 職員の間外労働

適切か

Q 労働基準法では、三六協定を締結して初めて時間外労働させることができ、地方公務員は該当しているのか。

A 地方公務員は、地方公務員法が適用されるため原則除外されている。ただし、自治体が行う業務のうち、経営的資格を有するものに関しては三六協定を締結する必要がある。

## 地方版総合戦略の外部有識者

どんな人

Q 外部有識者とはどのような人に頼むのか。また、地方版総合会議は今年度も開くのか。

定以外に、地方版総合戦略に盛り込まれた事業の評価、検証をする機能が毎年同じ方に委員になっていただいて評価、検証を行う会議を開くことになっている。

A 多種多様な5分野から選出し埴町では12名を委嘱している。策

## 指定管理料減額

なぜ

Q 湯遊ランド脇の古民家とダリア園の指定管理料が、平成28年度より減額して計上されているのはなぜか。

A 平成29年度は、入場料・使用料などについて湯遊ランドが徴収をしているため、その見合い分を減額して230万円計上している。



## 公用車購入

管理は

Q 公用車購入費800万円となっているが、車種と購入台数は。

A 小型バン1台、普通乗用車1台、軽自動車2台を予定している。



Q 公用車の管理は。

A 各1台ずつ作成し、鍵と一緒に総務課で管理している。車検は、町内業者を中心にお願

## LED化

実施しないのか

Q 隣の矢祭町では、今年度、国の補助事業で全ての街路灯、防犯灯をLED化している。埴町は実施しないのか。

A 各行政区から蛍光灯の防犯灯をLEDにしてほしいという要望がある。今後何らかの形でLED化していきたい。

## 待機児童解消

できてる

Q 保育園の待機児童解消できているのか。

A 平成28年度、仮設の保育室を増設する予算を確保している。4月には増設工事を終了させた。



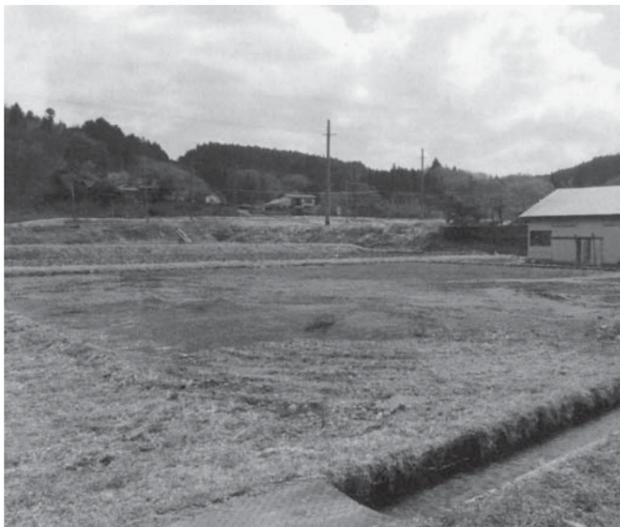
## 消防車庫新築

高すぎない

Q 3分団4班の消防車庫新築工事1100万円となっているが、高すぎるのでは。

A 床面積33・12平方メートル、木造平屋建てを予定。同敷地内に集会所も建設するが、全体の敷地内の砂利舗

装工事、敷地内排水工事などを消費税で予算化している。また、県の積算基準を準用しており、値上がりが見込まれているためこの額となっており。集会所と合わせて発注し経費を抑える方法を検討したい。



予定されている中平地内の建設地

## 敬老会

どう実施

Q 敬老会予算が減額されているが、今後どのようなやり方をしていくのか。

A 町が開催の際には事前に出欠をとり人数を把握して行う。希望する区があれば区で開催していたく二段構えの考えでいる。



Q 新年度は何人入所するのか。

A 申し込み人数が96名、うち74名が4月入所。5月入所が11名、11月までに入る見込みが1名いる。11月までには90名の園児が入ることになっている。(6名の差は、求職中であるため。)

Q 保育士の確保は

A 現段階では3名ほど保育士が不足している。96名全員入れると職員、保育士が16名必要になる。次年度の確保予定は13名の予定なので、3名について融通できるところを融通しながら、5月までは何とか頑張っていきたい。

# ダリアの切り花

## ? 売れ行きは

Q ダリア切り花の単価いくらか。

A 花の値段相場は変動が激しく、青山フラワーマーケットと栽培契約を結び1本100円で契約している。

Q 原発事故の損害賠償の関係は。

A 震災当時の平均単価と現在の単価の差額が賠償金として支払われている。



# 補正予算

◎平成28年度埴町一般会計補正予算(第6号)

1億5170万9000円を増額し、補正後の額を75億215万9000円とする。

北原定住促進住宅新築工事の減、多面的機能支払交付金の減、入湯税の減など。

6%だった。受け差が生じ減額となった。

質疑

多面的機能交付金が501万9000円も減額されている理由は。

答弁

大畑、上石井、小高の3地区が今年度取り組むことができなかったため。

質疑

北原定住促進住宅入札のABCランクはどれに該当するのか。

答弁

予定価格が4990万5720円だったので、5000万円以下でBクラスが対象業者になる。今回の入札では、町内と町外1社の6社で入札を行い、落札額が4071万6000円で落札率は81・

# 農業委員

◎特別職の議員の報酬及び費用弁償に関する事項の一部を改定する条例の制定について

農地利用最適化交付金が交付されることに伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員に対する報酬の上乗せ支給を可能とするため、所要の改定を行う。

# 指定管理

◎埴町体育館施設及び埴町山村広場施設の指定管理者の指定について

埴町体育施設、町営体育館、運動場、野球場、管理棟、テニスコート及び山村広場の施設を特定非営利活動法人はなわスポーツクラブが管理を行う。

質疑

指定管理の業務内容は。

答弁

主な管理業務は、施設使用の受付許可、利用料金の收受、施設の維持管理及び簡易な修繕、清掃点検、スポーツ振興事業に関する業務。

質疑

新たに追加された農業委員の能率給とは。

答弁

農業委員や推進委員が各地区で農地の荒廃地を改善した際の上乗せ支給すること。また、貸し借りの幹旋や農地利用パトロールなどにも支給される。

# 末広町の若者定住住宅

## ? いつ完成

Q 末広町の子育て若者定住促進住宅は何年に完成するのか。

A 遅くとも30年度に造成完了し販売に着手したい。

Q 完成後の分譲価格は。

A 造成工事や買収費用を加味して検討しなければならぬが、近



隣の売買実例などを参考にしながら価格の決定を行う。

# 北原定住促進住宅新築工事

## ? 着工いつ

Q 北原定住促進住宅新築工事はなぜ始まらないのか。

A 1月に入札を行い、契約、着工しているが現場において着手されていない。建築申請をしたところ県より若干指摘があり訂正等に時間がかかっている。間もなく許可が下り着工できる。

# 木野反分館

## ? 建設しないのか

Q 振興計画では、平成29年度木野反公民館建設費があったが、当初予算に計上されていないのはなぜか。

A 財政的見地及び緊急性を総合的に検討した結果先送りとなった。

# 人事

## 副町長に

としあき 小松利顕氏

副町長任命に同意



小松 利顕氏

須賀川市出身で、県危機管理課主任主査、総務課主任主査などを歴任。県北地方振興局企画商工部副部長(業務担当)兼地域づくり・商工労政課長兼復興支援・地域連携室担当副課長から現在に至る。任期は、平成29年4月1日から2年間。

3月定例会の傍聴者数はのべ57人でした。傍聴された方の中から、金澤寿子さんに傍聴した感想などをインタビューしました。



金澤 寿子さん (中塚)

傍聴のきっかけは、何度か傍聴にきておりますが、なかなかスケジュールが合わず実現できない事もありました。今回チャンスが巡ってきた事を幸運に思い、ワクワク感で足を運びました。

傍聴された感想はどうでしたか

行政側の取り組みについての答弁がいまいち私には

伝わってこないと感じました。

もちろん質問によって、丁寧な町政の進捗状況を説明されてる事もありますが、少し物足りなさを感じる場面もあり白熱した論戦を期待します。

白熱した議論を期待します

議員に対する要望はありますか

常にアンテナを張り巡らし研修会、勉強会、視察などで得られた知識を存分に生かして、町政の困難な問題に取り組んでいただきたいと願っております。質問、提言など事前に相当な調査をして臨んでおられるので、あろうと、議員さんの熱意に関心させられます。言いっぱなしで終わらないように、その後の成り行きも見守っていきたいところです。

新年度事業

について要望は

埴町には他町村に劣らない財産があります。宝の持ち腐れにならないよう、理想を掲げて未来の子ども達

のためにも、ビジョンを示してほしい。先ごろ行われた意見交換会においても、提案やアイデアが出されていたと思います。どこに視点を置くのか、子育てや福祉、教育など問題は山積しています。埴工業高校、埴厚生病院、道の駅、建設予定のこども園、森林資源、花の町はなわ、どれをとっても今後活かせる財産だと思えます。町民が主役になり、山、水、花の町づくりに参加できるように、多くの町民を巻き込んで意見交換をすべきと思います。我々も他山の石とせず積極的に行政を見つめていくべきと考えます。

町政をただす

一般質問とは

議会とは、住民の皆さんに代わって町の行財政の運営を監視する役割があります。一般質問は、その議会を構成する議員に与えられた権利です。町の事務の執行状況や町の将来への考え方について、報告や説明を町長に求めます。議会だよりに掲載している一般質問は、一般質問議員自らが作成し掲載しています。掲載希望がない議員は掲載していません。

町の考えを問う

埴工高に新学科創設で町起こしを

存続を目ざして取り組む

質問 埴工高校に対する現状認識は。

答弁 入学者が少なく心配している。

質問 埴工高校は入学者が少なく存続の危機にある。新学科を創設して町活性化につなげてどうか。

答弁 廃校になると地域に大きな影響を与える。存続の為に新学科の創設は県に強く働きかけたい。

質問 全国から生徒が集まるような学科創りの体制を早急にやらなければならぬ。先行して通学費を援助しては。

答弁 他の自治体の取り組みを検証し、私案として給食の供給なども検討したい。

質問 町長以下三役が給料を減額して原資を捻出しているか。

答弁 よく考えたい。



鈴木 茂

埴工高は、初代町長白石禎美翁が私財を投げうって創設した。OBである町長は、危機感を持って存続させる責務がある。



平成29年度57名が入学した埴工業高校

若者定住促進住宅建設は！分譲地を優先し建設材料で支援

質問 町長の公約である若者定住促進住宅が振興計画で宅地造成だけに変更された理由

答弁 分譲価格が安くできそうと思われる。

全部売れてしまえば造らない。

質問 分譲地を買って家を建てると高額になり、賃貸であれば安上がりで定住が進むのではないか。造らないと

若者の流出は止まらなと思うが。答弁 町内で若者がかなり家を建てている。建築材料などで支援して行きたい。

質問 今年度のふるさと納税額はいくらか。

答弁 900万円の前年の50%に落ちこんでいる。

質問 姉妹都市、友好都市を締結したり、天領のさとという同じ名前の道の駅と連携して返礼品を充実し、更に町の活性化につなげてはどうか。

答弁 前向きにしっかりと検討したい。

質問 町民の先頭に立ちトップセールスで行うべきと思うが。

答弁 何処へでも出かけていって売りこんで行きたい。

姉妹都市道の駅 連携で戦略町政を

前向きに検討したい



吉田 広明

行政改革は永遠のテーマなので、改革改善をしなければ...

# 「市町村財政計画」を県に提出したが 財政の硬直化によるシグナル

質問 財政が硬直化し、経常収支比率の悪化により、福島県総務部長宛てに提出した「市町村財政計画」の内容を問う。  
答弁 これは、財政の硬直化によるシグナルである。歳入方法は滞納や使用料の回収を進め、町公有地の積極的販売も行う。  
経常収支比率93%になったのは、給食センター、武道場、防災センターを起債や一般財源で町単独事業として行なったため、元利償還金の増加に繋がったので、町単独は考え直し、効率の良い補助金等を考えていく。

## 給食費の無料化は どうなるのか

### 実現させる方向で検討したい

質問 多くの子供を育てて貰うためにも、給食費の無料化は重要な政策であるが、3割負担のままなのか。  
答弁 平成三十年以降の給食費無料化は、財源と照らし合わせをしながら、実現の方向に向けて考え行きたい。  
笹原地区のこども園入園について  
質問 笹原地区の幼稚園児がこども園に入園が可能なのか。  
答弁 幼稚園は、学区というものを定めていないので、笹原に在任している子供達も、希望すれば「塙こども園」に入ること

## 湯遊ランドの赤字はどうなる

### 今後勉強を重ねたい

質問 塙町振興公社・湯遊ランドの施設使用料が昨年度0円で、累積赤字が9200万円（資本金1億/町出資51%）となり、債務超過に陥る。平成30年度から「地方公会計」の導入に伴う連結決算の対応はどうするのか。  
答弁 平成10年にオープンして、使用料は4000万円だったが、平成16年から2000万円、平成22年1000万円、平成23年以降は、賦課をしていない。平成29年度から連結決算の対象になる。しかし、数字を明らかにするだけ、そのまま行政が赤字を補填するものではないと聞いている。今後、勉強を重ねて行きたい。

### 新たなまちづくりは

質問 人口減少が続いた場合、働く世代も減少し、生産活動の低下や税の減収、地域コミュニティなどの維持を図る「地域NPO法人」などの模索はあるか。  
答弁 運営経費の掛からない、コンパクトシティの構想を考えている。専門家と相談をしている。大きな計画となるが、しっかりとした計画を立案し、国県に予算も含めて働き掛けをして行きたい。

町の考えを問う

## あぶくま高原美術館 廃止は

### 敬老会開催も 含めて検討する

質問 あぶくま高原美術館廃止は、いつ那倉地区に説明したのか。  
答弁 一度も那倉に出向いての説明等は開いていない。振興計画に載せただけで取り壊すとは言っていない。新年度になってから考える。  
質問 町主催敬老会の開催は。

答弁 新区長さんと話し合っ決定する。  
質問 汚染土壌搬入について上石井地区に説明すべきではなかったのか。  
答弁 放射線量が低いので人体への影響はないと認識されたことから説明の必要はないと判断した。



鈴木 安次

町政は町民の為にあるべきである。  
町民ファーストだが現町政は...

## なぜこども園建設に 建築40年を経過している

質問 多世代交流センター建設からこども園建設に至る経緯は。  
答弁 築40年を経過して老朽化している。多世代交流センターにも対応した施設である。  
質問 何故高齢者サロンを外したのか。  
答弁 多目的ホールで十分可能である。  
質問 町財政は大丈夫か。  
答弁 経常収支比率は悪化する。財政に見合った施設にした。

質問 こども園完成年度は。  
答弁 30年度完成を願っているがまた図面が出来ていない。  
質問 こども園建設の工程表は。  
答弁 基本計画は本年6月までに、実施設計は来年1月までに仕上げ今年度中に発注したい。  
質問 認定こども園を指すのか。  
答弁 この町にあった運営にする。

## 町長選挙公約は こども園建設を優先する

質問 町長公約の老人ホームの建設は。  
答弁 こども園建設を優先してその後地域の要望によって考える。



子どもたちの夢と希望があふれる町に

一般質問

一般質問



下重 義人

健康寿命を伸ばすためにも、ゆっくり米山を登ってみませんか

町の考えを問う

## 森林整備・林業再生補助金でのチップ工場今後どうなる

### 周りに及ぼす影響は計容範囲である

質問 森林整備加速化・林業再生事業補助金での事業の進捗状況は。  
答弁 協和木材の集成材の加工施設一式などの、補助金の交付は決定となつている。東白製材協同組合には選別機の導入などの補助金が予定されているほか建設予定の建物の設計審査段階である。  
遠野興産の事業は、建設予定地との交渉中である。これらは、全て3月1日現在の状況である。  
質問 遠野興産チップ工場が川上地区から上洪井地区に変更になつた経緯は。  
答弁 川上地区での説

明会で騒音、粉じん問題が発生するので反対があつた。また、上洪井地区にある木材流通センターが東白川森林組合より借地している用地での創業が望ましいのではないかと。  
質問 チップ工場が出来ることによる町の森林事業に及ぼすメリット、デメリットは。  
答弁 今まで活用されなかつた木材もチップになるので収入に繋がる。雇用問題にもプラスになるのではないかと。騒音、粉じんに関しては、建物の中で作業なので許容範囲である。



米山と水郡線

## あのゴミの山はいずこへ

### 大半が焼失

質問 最終処分場建設前にあつたゴミの山はどこに消えたのか。  
答弁 過去に自然発火で2回ほど火災が発生した。その時ゴミの山は大半が焼失し灰の状態になつたためそのまま埋めた。現在は、最終処分場でそこから出る水の管理は適切に行っている。

## スピードアップを望む

### 現在調査中である

質問 林間工業団地へのアクセス道路の進捗状況は。  
答弁 県とも協議をして補助事業があるか働きかけている。  
県南建設事務所関係者と現地確認を行った。

## 西に聳え立つ米山活用

### 観光の場として考えてみたい

質問 健康寿命を延ばすためにも米山をトレッキングの場として活用できないか。  
答弁 山頂の景観も町内を一望できる健康に繋がるトレッキングの場所及び観光にも取り組んでいきたい。

町の考えを問う

## 常豊小学校の利活用は

### 公共施設として活用していきたい

質問 統合まで一年となつた常豊小学校の利活用について町長のリーダーとしての構想は。  
答弁 すべては廃止条例制定後であるが各方面と協議し模索していく。私としては公共施設として活用していきたい。

常豊小学校を1〜2億円かけてリフォームすれば立派な子ども園になるという声も多数ある。現在のことも園候補地は、5年前取得を提案した時から、高齢者と子育て世代が一緒に住むシェアハウスこそが最適であると申し上げる。また、常豊小学校の活用には、看護

師、介護士養成の専門学校を誘致できないか。外国人を含め若い人が町内に住めるよう、既存のアパートをリフォームする改築補助金を用意して町の活性化を図るよう提言する。  
答弁 各機関と相談して返答する。

## 給付型奨学金を検討しては

### 町も対策を考える

質問 少子化対策を伺う。  
答弁 国の進める総合戦略に合わせ、地方版総合戦略を策定しそれを軸に考えていく。  
質問 予算に給食費3割補助を少子化対策として提案しているが、子供一人当たりの給食費負担と大学を終了までの経費を伺う。  
答弁 給食費は、11年

間で54万円ぐらい。教育費は18年間で種々のケースがあるが約1000万円から1500万円ぐらいである。  
質問 これまでも提言してきたが、条件付給付型奨学金を検討してはどうか。  
答弁 国としても検討している事でもあり、町も対策を考える。  
質問 強風の日が増え

ているが、町の大火対策を伺う。  
答弁 消火栓が269防火水槽98有り、川上川、久慈川の自然水利を活用する考えであり、町堀の流水の確保も命じている。状況によりすみやかな外部上部機関への応援要請も考えている。  
質問 文化財保護出動訓練のような町内出動訓練をしてはどうか。実際にやってみないと対処ができない。  
答弁 ありがたい提案であり対応を要請する。できれば実施したい。

## 経常収支比率93%とは

### 一時的な現象で財政指標は健全

質問 経常収支比率93%と言うことで財政計画の提出要請があつたというが内容を伺う。  
答弁 正常値が70%であるなか、93%という事で提出し県から努力要請があつた。原因は、

給食センター、防災センター、衛生組合補助金、上下水道補助金など町単独事業が重なつたのが原因であり一時的な現象ともいえる。町の財政指標は健全である。

質問 公共施設等管理計画をみると今後40年毎年16億円かかるとあるが説明を求めます。  
答弁 現在ある施設を40年後も維持するとしてらという数字である。



小峰 由久

大幅な人事異動で答弁席も様変わり、一度お出かけ下さい。楽しみです。



青砥 與藏

今、町村は医療費・年金・給与・公債費・少子高齢化対策などの経費収支バランスの取れた行政を求められている。

# 町の考えを問う バランスのとれた給与基準を検討すべき

## 国の方針に合わせる

質問 平成27年度同一労働同一賃金推進法が施行されました。欧米諸国では非正規社員の賃金が正社員の8割程度で、日本は6割と大きく遅れをとっている国です。バランスのとれた給与基準を検討すべきと考えます。埴町の正職員・臨時職員の人数・給与・賞与・その他の手当の支払い現状をお聞かせします。

非常勤日額職員10名・パート職員57名、日額職員の場合月26万円前後。  
質問 今後、町正職員・臨時職員の職員数・給与体系をどのような待遇で対応するか伺います。  
回答 国の方針に合わせて対応を考えていきます。

# 町振興公社の改善計画は 人材育成、経費削減に努める

質問 全国の自治体関係者が「奇跡の村」と呼ぶ山村が、長野県下條村です。  
2011年度の財政力指数は0.21、典型的な山村です。今、全国の市町村の行政関係者が研修にいく先進地です。伊藤村長は「行政コストをトコトン削減すれば、投資的経費は捻出できる」と言っています。職員数は32名、類似の公共団体平均の半分以下です。経常収支比率は、全国6位64.7%、実質公債比率は全国4位のマイ

ナス3.5%で基金は55億円と健全財政です。埴町振興公社の半年間で改善ができたこと、進行中の改善計画を伺う。  
回答 毎月経営監査を行い、少しずつ改善しているといえる。人材育成に努め利益確保に邁進します。  
質問 町の歳出の中で委託業務の予算が大きく、28年度で2億4千万円ほどの多額予算が計上され、以前は職員がおこない現在委託される予算はどの程度ありますか。

回答 大きなウェートを占めているのは、TKC、給食センター、図書館の窓口などの委託先がある。  
質問 長年予算を経常的に歳出している補助金は、通常3〜5年で結果を出す。これが一般的補助金です。ダリア補助金の独り立ちできない理由などを伺います。  
回答 埴のダリアとして商標登録をしている。ダリア切り花による産地化を目指している。

# 賠償の相談は 引き続き交渉する

質問 福島第一原発事故後、燃料デブリに近づくとすらすらできず、事故収束の目途は立っていません。今後、町民の不安・賠償の相談など対応について伺う。  
回答 個人の対応では限界があり、東京電力とも引き続き交渉していきます。

質問 避難地域で、いじめにあう事件がありました。学校教育で、子ども達が自信を持ち生活できる放射線の知識・教育環境を作っていたらいいと考えています。考えを伺う。  
回答 小学1年生から中学3年生まで放射線の正しく恐れる知識を身に付ける教育を行っています。

町の考えを問う

# 町民の不安を払拭すべき!!

## 誠意をもって町政に取り組んで行く!!

質問 「議員と語ろう」意見交換会の席で、区長を始め区役員から不安をいだく声を耳にしたが、29年度の敬老会をどのように進めるのか。

回答 29年度の行政区長連合会と協議を重ね、担当課と意思疎通を図りながら敬老会実施を進める。

質問 埴大津港線・上り、地権者の協力があれば県に働きかけやすい。

質問 今年1月に県は現地を確認し、埴大津港線の上町地内について非常に危険と再認識したが、町の今後の対応は。

回答 道路拡幅にあたり、

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。



七宮 広樹

初心忘るべからず「一筋一心」活動中



歩道が狭く危険な通学路

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

# 里山づくりを推進する

## ボランティアを募り 押し進める

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

回答 今年度、観光協会が作成したウォーキング・ドライブマップを使い誘客を図ると共に、羽黒山頂を含め町内の観光スポットを整えて行きたい。

質問 埴町の中心部に位置する羽黒山は県のサポート事業を活用下刈り作業・桜の苗等の植樹をしたが、今後の羽黒山の里山づくりは。

回答 今年度、観光協会が作成したウォーキング・ドライブマップを使い誘客を図ると共に、羽黒山頂を含め町内の観光スポットを整えて行きたい。



吉田 克則

町の行う工事などは膨大な予算額を占める。入札及び契約は更なる透明性が求められるのではないかと。

町の考えを問う

# 工事契約先決定方法は町財務規則に基づきおこなう

質問 町がおこなう工事等契約先決定方法について、手続きの透明性、競争性確保の観点から、建設工事入札制度はどの様になつていくのか。  
答弁 町財務規則に基づき、予定価格130万円以上の工事は、指名競争入札でおこなつていく。指名運営委員会にて指名業者は決めていく。業者選定は建設工事指名資格選考委員会に諮り決めていく。  
一億円以上の工事は一般競争入札でおこなつていく。

質問 測量設計等業務委託先と委託料はどのように決められるのか。  
答弁 金額の多いものについては、委託業者を指名して入札で委託先を決めている。公共単価があるので積算し、予定価格を設定している。  
質問 物品の購入先と金額どのように。  
答弁 高額な場合は、指名業者を選定し予定価格を定め入札、又見積もりをとり物品の購入先と金額を決めている。

## 町立図書館の環境づくりは読書コーナー設置は今後の課題



新たな取り組みで来館者数アップを

質問 町立図書館の利用状況と入館しやすい環境づくりで来館者や読者を増やせないか。  
答弁 町立図書館は、町民の教養と文化の向上に資するため平成4年に設置。年間、貸出図書数45000冊、利用者数8000人強、入館者2万8000人を超えている。

靴をはいたままの入館は、床暖房を利用しているため、改修工事等を含め検討しなければならぬ。  
寛いで読書できるコーナー設置は、新たなスペースが必要となるので今後の課題として検討したい。

# 学校給食の無料化は

## 給食費の30%を町が負担

質問 学校給食費の無料化について。  
学校給食費の無料化は、平成29年4月から実施できるのか。  
答弁 予算書の給食費3148万3000円を計上した。これは、小学校中学校幼稚園個人負担分を30%町が負担(補助)するため。(平成29年4月から実施)

質問 国民健康保険について。  
今年度の医療費の伸びは現時点でいくらか。  
答弁 平成27年度に對して今年度の医療費の伸びは、金額で3429万2923円の増、率として6.33%の伸びとなった。一人当たりの医療費に

ついては、被保険者数が69人減少し、一人当たり24万5144円で2万1169円の増率として9.25%の伸びとなっている。医療費が年々増えていて危惧している。健康寿命を伸ばす方策として、大学と連携して健康づくりができないか、高齢者が集まることができる

質問 健康保険税の資産割がなくなるのか。  
また、資産割がなくなると被保険者の負担が多くなるのではないかと。  
答弁 現在埴町の条例上、資産割は入っている。平成30年度から県が市町村に代わって国保を運営することになっていくが、資産割を外すことは確定していない。全ての国民にとって給付の平等、負担の平等の実現は不可欠であり、国民健康保

仕事づくり、健康体操などを考えている。  
質問 健康保険税の資産割がなくなるのか。  
また、資産割がなくなると被保険者の負担が多くなるのではないかと。  
答弁 現在埴町の条例上、資産割は入っている。平成30年度から県が市町村に代わって国保を運営することになっていくが、資産割を外すことは確定していない。全ての国民にとって給付の平等、負担の平等の実現は不可欠であり、国民健康保

険中央会で医療保険制度の一本化を国に要望している。  
また、法律改正をうけて低所得者向けの保険料軽減措置や保険者支援制度の拡充のため、

平成27年度1700億円だった財政措置が、3400億円となる。



高縁 光

福島県には原子力発電は少ない。今後は小型水力発電を考えるべきだ



埴町保健推進員は、体操の研修などを行い、各地区での健康づくりを進めている

一般質問

一般質問

# 意見交換会を開催しました たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました



埴町議会では、「顔が見える議会」、「開かれた議会」をめざし、町民の皆様様に議会の活動状況を知っていただくと同時に、貴重なご意見などを伺うために、毎年意見交換会を開催しています。  
平成28年度は、2月14日(火)から16日(木)の3日間、前回より会場を増やし、町内6カ所で、全議員14人が2班に分かれ、議会活動報告と意見交換「人口減少に立ち向かえ」をテーマに、意見交換会を行いました。

## 参加者状況

	14日(火)	15日(水)	16日(木)	計
1班	高城地区 5人	埴地区 17人	台宿地区 7人	29人
2班	那倉地区 10人	笹原地区 8人	常豊地区 11人	29人
計	15人	25人	18人	58人

## アンケートでいただいたご意見・ご要望

- ・少数の意見よりは大人数の意見のほうがより現実的、建設的な意見のまとまりが出来ると思うので、多くの町民が集まるような日程を組んでほしい
- ・このような大変な時こそ議員定数を削減すべきと思う。
- ・いい企画であり、今後も続けてほしい。また、このような機会を開いてもらいたい
- ・休日か、休日前に開催されると多く人が集まると思う。人数が少ないと意味がない
- ・全員の議員さんからお話があれば良かったと思う
- ・斬新なアイデアで夢が持てる町づくりをしてもらいたい
- ・議員活動を聞けて議会を身近に感じる事ができた

ご協力ありがとうございました。

## 主な意見・要望

**Q** 1人住まいのお年寄りの安全対策はどうなっているのか。見守り隊は月に一回も回って来ない。IP電話利用で対策をしては。

**A** IP電話は現在利用できないが、切替時期に利用を考えるようにしたい。

**Q** 敬老会はどうなるのか。区で開催してほしいとのことだがなかなか難しい。このままでは区長のなり手もない。

**A** 急には難しい問題もあるが町民に理解をしていただき段階を経て進めるのがいいと思う。

**Q** 企業誘致はどうなるのか。働く場所がないから人が減るのは、4町村連携で企業誘致は考えられないのか。

**A** 立地の問題もあり企業誘致は難しい。ただ、住むのなら埴町と言われるような政策を進めるべきである。若者定住促進住宅や給食費の無料化などいろいろな政策を行政と議会で検討していく。

**Q** 常豊小学校の跡地をこども園にしてはどうか。もっと話し合いをしてほしい。こども園が出来る笹原幼稚園はどうなるのか。

**A** 笹原幼稚園はそのまま残す。こども園は駅前にできる。跡地はよく話し合っつてよりよい使い方を考えてほしい。議会としても議論の中に入れていくべきである。

## 意見・要望への対応

意見交換会でいただいた意見・要望は、内容を整理し議会自ら取り組むべき項目は議会内で対応を検討します。  
町政に対する事項は町当局に報告し、特に必要があるものは常任委員会でも今後調査を行うところです。  
調査結果や対応状況は、次回の議会、だよりや意見交換会で報告していきたいと考えています。

## 参加された方の感想

参加された町民の方々に意見交換会での感想をいただきました。

### 継続して各分部での意見交換会を

那倉地区で意見交換会が開催されるということで今回初めて参加しました。各分部で意見交換会が開催されることは、気軽に参加しやすく意見も言いやすいのでとてもいい事だと思います。那倉地区は、少子高齢化で一人暮らしの高齢者が増え続けています。見守り隊の方々だけでなく、地域全体で高齢者をサポートする仕組みが求められていると感じます。今後も議員の方々には、幅広い層の町民が集えるよう配慮して頂き、継続して町民の声を聞く意見交換会を開催して頂きたいと思います。



小峯ふゆ子さん  
小峰 葉子さん  
(那倉地区)

### 誰のための町づくりかを考えて

区長ということもあり意見交換会に出席しました。少子化は難しいテーマでしたが、若者定住のために何が必要なのか？職場、住宅などの環境整備、教育関係の無料化など、埴町全体で地域差を考慮しながら決定する事の難しさを話し合い、議員の方々や行政機関だけではなく町民全体で考える事の大切さを確認できた良い経験でした。  
議員の皆さまには、誰のための町づくりかを考え、一時的な感情などで町政を停滞させることのないように取り組んで頂きたいと思います。



藤田素千さん  
(笹原地区)

# 追跡 レポート

## あの質問 どうなった？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

### ●平成28年12月定例会

#### 質問 どの様に「行財政改革」を進めるのか

町長は町財政の経常収支比率が悪化しているため思い切った「行財政運営の抜本的改革」を行って行くことが必要であると言っているがどの様に「行財政改革」を進めて行くのか。



#### 答弁 新たな組織を作り進めていく

町長を本部長とする「行財政改革推進本部」を組織する。実質的な調査、検討、原案策定は係長クラスを中心に「プロジェクトチーム」を設置。町政に優れた見識を有する団体の長や学識経験者で構成する「行財政改革推進委員会」を組織し『行財政改革大綱』を策定する。又、「町づくり会議（仮称）」を設置し町民から30人程度公募し町民の声を反映させていきたい。



#### その後 「まちづくり会議」を開催した

「行財政改革推進本部」「プロジェクトチーム」「行財政改革推進委員会」は、まだ、設置していない。町民の声を反映させる目的の「まちづくり会議」は、住民18名を募り3月末までに6回の会議を開催している。テーマとしては敬老会、学校給食・使用料（上下水道、集落排水）、町歳入増対策・常豊幼稚園、小学校の統合・振興公社、交際費・行政組織、定住自立圏について協議をしている。『行財政改革大綱』は、平成29年度の前半に策定することになっているが作業が遅れている状況。

### ●平成28年12月定例会

#### 質問 今後の敬老会は

平成29年度から、町から区に敬老会の開催を移行するとのことだが、町の今後の対応は。



#### 答弁 自主的に区で開催していただく

自主的に区で敬老会事業を開催していただく。区内80歳以上の方を対象に一人3,000円の補助金を交付し、行政区の対応に任せていく。



#### その後 行政区長連合会と協議する

29年度の行政区長連合会と協議を重ね、健康福祉課と意思疎通を図りながら敬老会実施を進める。また、今まで75歳以上だった参加者を80歳以上からとする方針が出されている。



区で開催している矢塚地区の敬老会

## 委員会 レポート

### 総務常任委員会

## 地方公会計制度導入及び公共施設等総合管理計画策定の調査



**地** 方公会計制度は、町会計に企業会計の考え方を導入するもので、これまでの決算書のほかに貸借対照表や行政コスト計算書（損益計算書に相当）などを作成し、財政状況を分かりやすくするとともに、効率的行政運営に役立てようとするもの。これらは平成28年度決算時に作成されている。

るが、すでに資産把握などこれまでの会計では手薄だった点の整備に取り組んでいた。公共施設等総合管理計画は、これから先の人口減少を見込んで、公共施設更新（建替えなど）をどのように進めるのか、その基本的考えを表すもの。（3月末策定見込み）町の施設等の更新など今後40年間の費用は約640億円で、平均して1年間に16億円必要となる。今ある公共施設を今後どのようにしていくか、これまで以上に費用と利用効果の面からの検討が必要となる。



**県** 道、町道の整備状況や整備計画を確認した。どの地区も様々な事情で時間がかかっているが、特に板庭田野作湯舟線（飯土井橋）は着工から5年がかかっている。生活や農作業に密着した道路であるので、選択と集中により一日も早い竣工が待たれる。



**上** 石井地内浄化センター敷地内に、各学校等に保管してあった汚染土壌を中間貯蔵施設に搬出するまでの間、一時仮置きする予定であった。しかし、上石井区に説明もなく搬入されたことから、地区住民が不安になり町に申し入れがあった。現場を確認するとともに、経緯の調査を行った。行政の説明責任は重要であり、今後二度とこのような事があってはならない。

## 総務常任委員会 町内道路整備と上石井区の汚染土壌仮置き場を現地調査

# 議会の動き

## 議会力にいかす一般質問を研修

— 一般質問における論点整理の強化を目指す —

2月23日(木)「議会力にいかす一般質問」と題して議員研修会が開催されました。

講師は、公共政策論が専門の龍谷大学教授の土山希美枝先生でした。先生は、一般質問力を高めることで、議会力を高めようと提唱され、数々の著書も手掛けられています。

研修は、講義のほか、実際に行った一般質問を題材に良い点、悪い点をグループ討議するなど具体的な内容で、議員は「論点を整理する」大切さを再認識することができた。



## 議会活動出欠状況

平成29年1月1日～3月31日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
29.1.12	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.1.18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.1.18	経済常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
29.1.20	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.2.7	経済常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
29.2.8	総務常任委員会	私用	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—
29.2.14-16	意見交換会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.2.15	宮城県村田町議会来町	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.2.17	経済常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
29.2.17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○	○
29.2.22	意見交換会取りまとめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.2.23	議員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.2.28	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.3.3	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用遅参	私用遅参	私用遅参	私用	○
29.3.3	広報常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
29.3.8-13	3月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.3.10	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.3.14	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.3.15	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○
29.3.15	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.3.15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.3.15-16	3月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.3.16	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29.3.16	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○
29.3.23	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 —該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

# 議会だよりモニターさんの声

今回は、議会だより137号(平成29年1月27日発行)について寄せられた意見を掲載します。



## ◎12月定例会の内容についてP2～5

・埴町の議員報酬が各町村との比較として記載してあり、埴町の実態が理解できた。現在の議員定数と報酬が適正なのか判断材料の一つになると思う。

対応 より内容を深められるような表現を工夫していきたい。

## ◎基金特集P20～21

・基金は難しく理解されにくいと思うので、今後も機会をみて分かり易く項目ごとに説明をしてほしい。  
・単位が千円単位なのはわかりにくいのではないかな。

対応 難しいと思われる内容も、なるべくわかりやすく解説したい。単位に関しては、万円単位で表現していきたい。

## ◎表紙に関して

・定例会内容のメイン記事など関連した表紙にしてはどうか。  
・今回の笹原小学校議会傍聴の様子を表紙にし、記事と関連させても良かったのではないかな。

対応 今後は、記事と関連した表紙にできるよう努力したい。

## ◎その他

・QAはわかりやすい  
・笹原小学校の議会傍聴は、何を行ったのか明確で良かった。  
・関連性がある人物のインタビューを掲載したことは良いと思う。

## 私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

私のモニター生活の始まりは2年前、「気づいた事なんでもいいから」と言われ、軽い気持ちで受けました。議会のことに縁遠いと思

有坂 麻美さん  
(高城地区)



議会だよりモニターのパトンを繋げる

普段から議会など意識しないで生きてきました。「あーだこーだ」と文句を言いながら他人事のように議事を遠回しにみてきまし



松本 修さん  
(笹原地区)

議会だよりは、議事を分かり易く説明してくれるもの

た。多くの人もそうだと思います。議会だよりは、そんな人の為に議事を分かり易く説明してくれるものだと思えました。議会だよりモニターをする為には誌面を隅から隅まで読まなくてはなりません。大変でしたが役に立ちました。この文章までだどり着いた貴方！機会がありましたらぜひ!!モニターをやってみて下さい。結構たのしいですよ。

思っていた私でさえも毎号を全文読むことで今の町の状況などをざっくりと知ることができるようになりました。毎年町民の方に、議会だよりモニターの方に、議を繋げることで議会や町の一員としての関わりができてくると思います。自分の意見を言いたい伝えたいと思う方は是非、モニターになることをおすすめします。一生暮らしていく自分の町ですから。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：「キルトメイトはなわ」  
 活動場所：埴町公民館  
 会長：白石 優子 43-0950

### 赤い糸は縁結び

### 「つるしびな」の仲間たち

「キルトメイトはなわ」は、月2回、会員15名が町公民館に集まり和洋の切れ布を利用して作品作りをしています。始まって22年が経過しましたと会長さんからお話を聞きました。

3月節句には、埴駅構内にあるコミュニケーションプラザイベント広場において、会員が持ち寄り「つるしびな」作品展を開催したところ、約3000名の大勢



の方々が見に来てくれましたと喜んでいました。

「つるしびな」作りは、静岡県県力ワズ桜で有名な稲取へ視察に行ったとき作品の素晴らしさに感動を受けたのが製作のきっかけですと話していました。

子供たちの健やかな成長を願い、ひと針ひと針、心を込めて着物のほしきれを利用して丁寧に作品をつくっています。作品には、各会員の思い思いの顔があり生き活きとして、とても素晴らしいと思えました。赤い糸は縁結びそのものだと「つるしびな」作品展を取材して感じました。

洋切れ布は、バックや、ぬいぐるみを作っているそうです。文化祭には作品を展示していると聞きました。秋には是非とも作品を見にうかがいたいと思います。

「キルトメイトはなわ」では、興味のある方、会員になりたい方は、お気軽にお問い合わせ下さいと歓迎していました。

### 編集後記

1年を振り返り、広報委員として活動をして議会のあり方などを学んでまいりました。埴町に限らず、行政大改革や少子支援、高齢化対策、産業の育成などを進めなければ、衰退の加速を迎えるだけです。これからも、埴町の行政の一翼を担うべく、研鑽をして参りますので、議会へ率直なご指摘を頂きますように、お願い致します。

吉田 広明

### 議会傍聴に おいでください

次回の定例会は、6月8日から開会される予定です。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

### 広報常任委員会

委員長 吉田重樹  
 副委員長 下鈴木吉七  
 委員 長 田次茂  
 委員 安 廣明  
 委員 廣 樹

※議事録は、議会事務局、またはホームページでも見られます。